

世界インパクト投資ファンド

(愛称) **Better World**

追加型投信／内外／株式

第5期 2019年2月12日決算

作成対象期間 (2018年8月11日～2019年2月12日)

第5期末 (2019年2月12日)	
基準価額	9,843円
純資産総額	46,614百万円
第5期	
騰落率	△7.7%
分配金	0円

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「世界インパクト投資ファンド（愛称：Better World）」は、このたび、第5期の決算を行いました。

当ファンドは、世界インパクト投資マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式の中から社会的な課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

大和住銀投信投資顧問株式会社は、関係当局の認可等を得ることを前提に、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友D Sアセットマネジメント株式会社となる予定です。

◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名で検索」にファンド名を入力*⇒該当のファンドを選択⇒「運用実績・レポート」を選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

※償還の場合は、「償還ファンド一覧」を選択

ホームページアドレス
<https://www.daiwasbi.co.jp/>



お問い合わせ先

受付窓口：（電話番号）0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで（土、日、祝日除く。）

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

資産運用のベストパートナー、**だいわすみぎん**

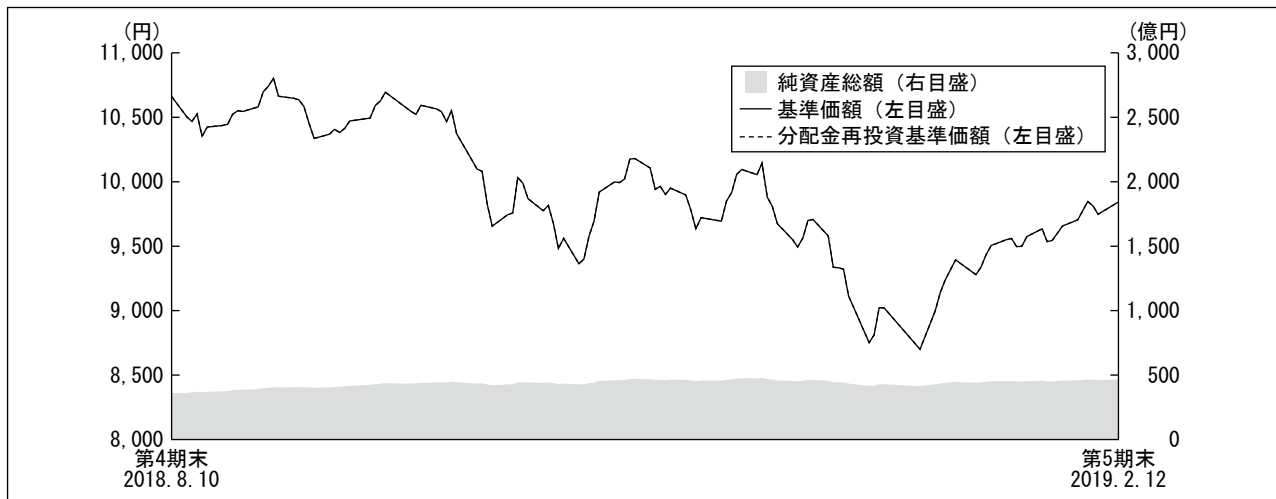


大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第5期首：10,661円

第5期末：9,843円（既払分配金 0円）

騰落率：△7.7%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、世界インパクト投資マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式の中から社会的な課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行いました。

（上昇要因）

通信機器会社のユビキティ・ネットワークスの組み入れは、エンタープライズテクノロジー事業の収益が拡大したほか、追加の自社株買いや配当金の実施を発表した点が評価されて株価が上昇し、プラスとなりました。また、風力タービンメーカーのベスタス・ウィンド・システムズの組み入れは、欧州で風力発電の大型案件を相次いで受注したことが好感され、プラスとなりました。さらに、ブラジルの住宅建設会社のMRV エンジェニヤリアの組み入れは、新政権による経済改革への期待からブラジル株式市場全般が上昇する中、同社株も大幅に上昇し、プラスとなりました。

(下落要因)

住宅金融会社のインディアブルズ・ハウジング・ファイナンスの組み入れは、インドの大手ノンバンクの一家が債務不履行となったことを受け、ノンバンク金融市場における信用不安が高まり株価が下落し、マイナスとなりました。また、フランスの大手バイオ分析検査企業であるユーロフィン・サイエンティフィックの組み入れがマイナスとなりました。同社は自律的な売上の成長に加えて戦略的なM&A（企業買収・合併）の実施でコアビジネスを成長させることを目標としており、欧州社債スプレッドが拡大する中、借り入れコストの上昇が投資家の間で警戒され、株価が下落しました。さらに、英国の情報技術セキュリティベンダーのソフォス・グループの組み入れは、前年度の高いハードルを背景に売上の成長が伸び悩んだことから株価が下落し、マイナスとなりました。

【1万口当りの費用明細】

項目	当期		項目の概要
	2018年8月11日～2019年2月12日		
	金額	比率	
信託報酬	98円	0.991%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,925円です。
(投信会社)	(57)	(0.578)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(38)	(0.385)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.028)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	7	0.066	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(7)	(0.066)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資証券)	(0)	(0.000)	
有価証券取引税	5	0.051	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(5)	(0.051)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資証券)	(0)	(0.000)	
その他費用	6	0.056	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(5)	(0.053)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	116	1.164	

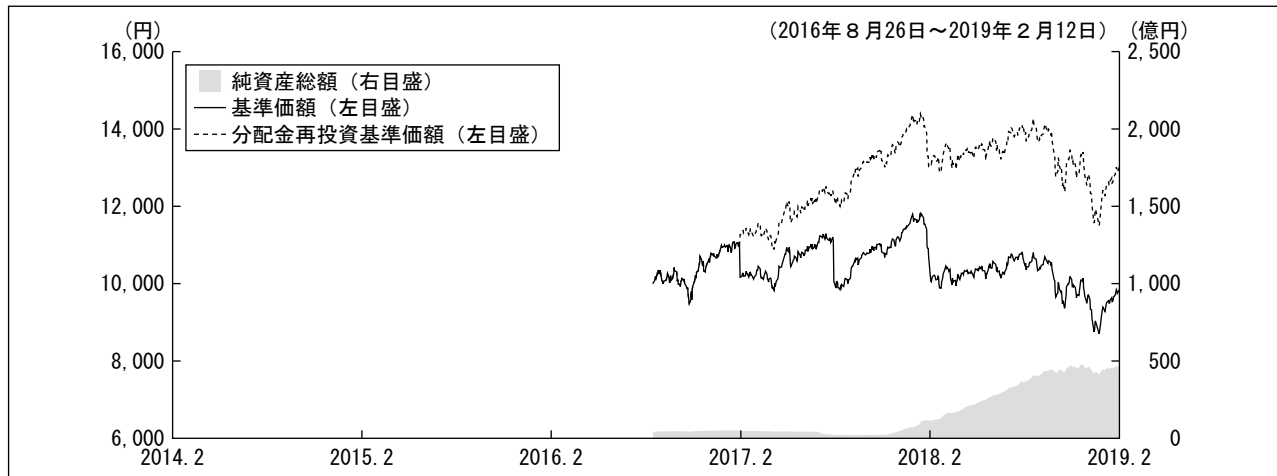
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日(2016年8月26日)より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年8月26日 設定日	2017年2月10日 決算日	2018年2月13日 決算日	2019年2月12日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,165	10,075	9,843
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,100	1,700	150
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	12.7	16.5	△0.9
MSCIオールカンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算)騰落率 (%)	—	19.0	13.0	0.1
純資産総額 (百万円)	4,160	4,663	10,932	46,614

*MSCIオールカンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

●参考指数に関して

*MSCIオールカンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算)とは、MSCIオールカンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)を委託者が円換算したものです。

*海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

【投資環境】

当期は堅調な推移で始まりましたが、2018年10月以降は米長期金利の急上昇、米中貿易摩擦による企業業績への影響、世界景気の減速懸念などの不安要素が相次いだことから、投資家心理が一転し、急落しました。2019年1月に入り、米国での利上げ観測の後退を背景に反発したものの、米中貿易摩擦や中国景気減速などの不透明感が重石となりました。為替市場は、リスク回避の動きから、前期末比で米ドル安円高となりました。

【ポートフォリオ】

■世界インパクト投資ファンド

主要投資対象である世界インパクト投資マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な株式組入比率は96.3%としました。

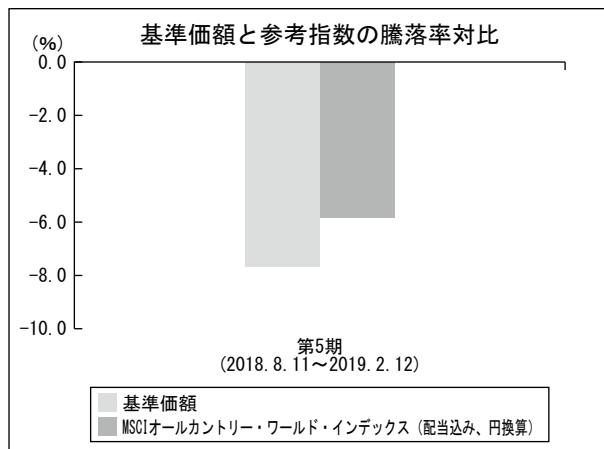
■世界インパクト投資マザーファンド

当期の騰落率は、△6.8%となりました。

当期は大手バイオ分析検査企業のユーロフィン・サイエンティフィックの追加購入を実施しました。一方、風力タービンメーカーのベスタス・ウィンド・システムズの一部売却を実施しました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第5期	
	2018年8月11日 ～2019年2月12日	
当期分配金 (円)		0
(対基準価額比率) (%)		0.00
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		274

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■世界インパクト投資ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式の中から社会的な課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長を目指して運用を行います。

■世界インパクト投資マザーファンド

継続的な調査を通じて、広範な地域および投資テーマにおいて多くの投資機会を発掘します。引き続き、投資テーマ別調査の拡大に取り組み、革新的な技術を有する企業、安定成長が見込まれる企業および継続可能な競争優位性を有する企業に注目し、ビジネス・サイクルおよび投資テーマの分散に努めます。

お知らせ

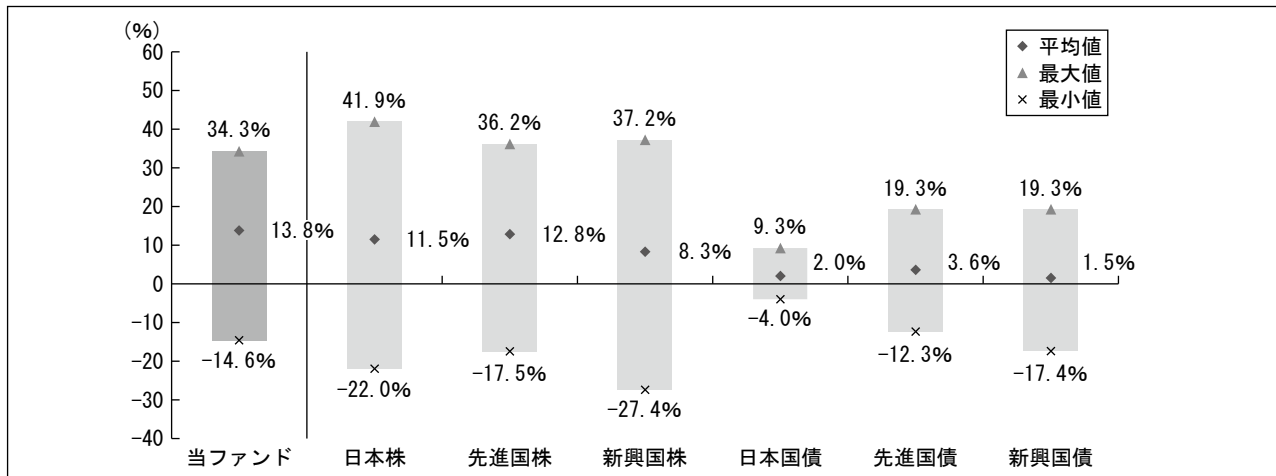
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2016年8月26日～2026年8月10日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式の中から社会的な課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	世界インパクト投資マザーファンド受益証券
	世界インパクト投資マザーファンド	世界の金融商品取引所に上場する株式
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運用はファミリーファンド方式で行います。 ・銘柄選定にあたっては、社会的課題の解決（社会的インパクト）に取り組む企業に着目し、個々の企業のファンダメンタル分析等を行い、投資魅力のある銘柄に投資します。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 	
分配方針	<p>毎年2月、8月の10日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2017年8月～2019年1月
代表的な資産クラス：2014年2月～2019年1月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

<<当該投資信託の組入資産の内容>>

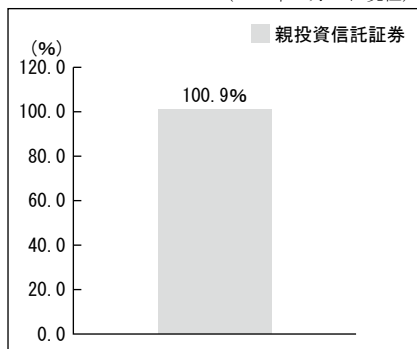
【組入ファンド】

	第5期末（2019年2月12日）
	組入比率
世界インパクト投資マザーファンド	100.9%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

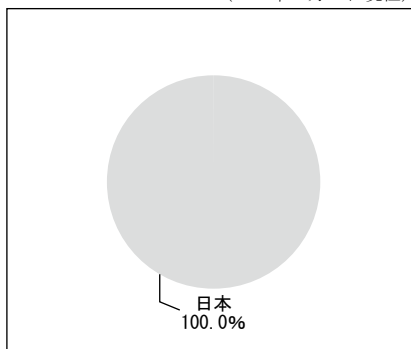
(2019年2月12日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

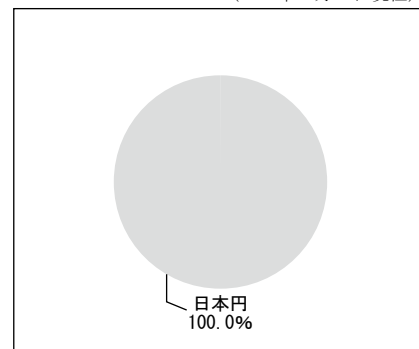
(2019年2月12日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2019年2月12日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

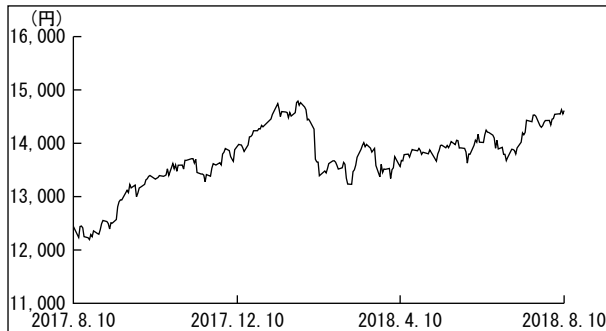
項目	当期末
	2019年2月12日
純資産総額	46,614,730,202円
受益権総口数	47,356,880,681口
1万口当り基準価額	9,843円

*当期中における追加設定元本額は17,015,117,933円、同解約元本額は3,562,496,433円です。

<<組入ファンドの概要>>

■世界インパクト投資マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当りの費用明細】

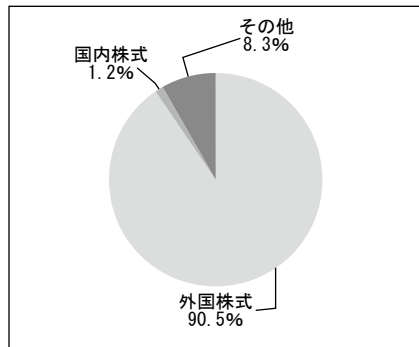
(2017年8月11日～2018年8月10日)

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	41円 (41)
有価証券取引税 (株式)	30 (30)
その他費用 (保管費用) (その他)	38 (28) (10)
合計	109

*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。
*期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【資産別配分】

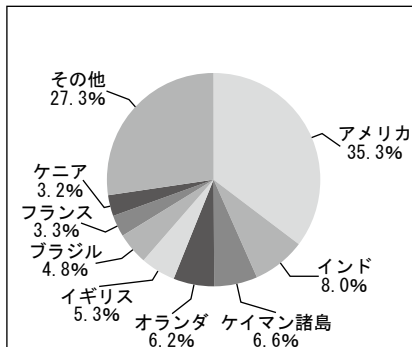
(2018年8月10日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

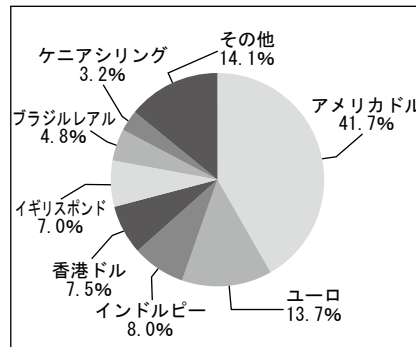
(2018年8月10日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2018年8月10日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2018年8月10日現在)

銘柄名	国名	業種名	比率
1 SAFARICOM PLC	ケニア	電気通信サービス	2.9%
2 AVANGRID INC	アメリカ	公益事業	2.9%
3 ZOETIS INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.7%
4 GRAMEENPHONE LTD	バングラディッシュ	電気通信サービス	2.7%
5 LAUREATE EDUCATION INC-A	アメリカ	消費者サービス	2.5%
6 INDIABULLS HOUSING FINANCE L	インド	銀行	2.5%
7 JOHNSON CONTROLS INTERNATION	アイルランド	資本財	2.2%
8 PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	2.2%
9 ITRON INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.2%
10 HUANENG RENEWABLES CORP-H	中国	公益事業	2.1%

(組入銘柄数 67銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

※基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments